



都市と世界をつなぐ
千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業

CHIBA CHALLENGE

ローカル・イノベーションに挑む!

2019



Feature

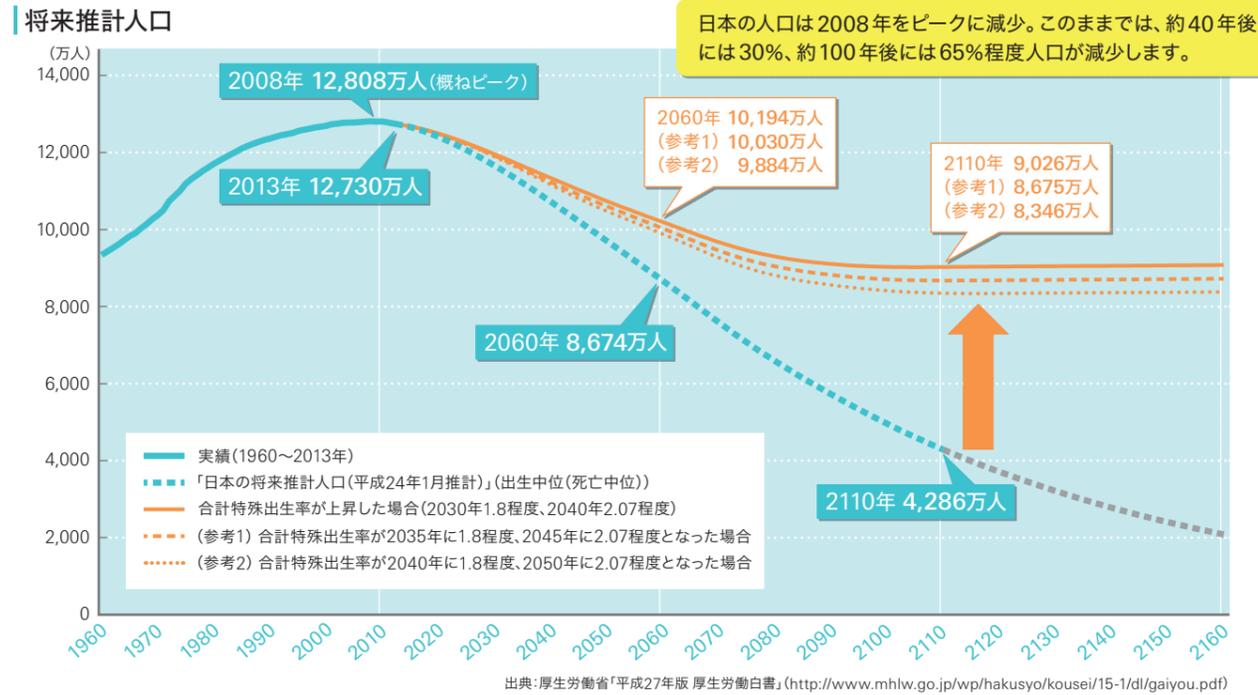
＼ 地域の未来づくりを目指す /
千葉大学 全学共通教育プログラム紹介

地域産業イノベーション学

コミュニティ再生ケア学

人口減少で、私たちの未来が危ない

知っていますか？ 地方が抱える問題



人口が減少すると… 労働力不足 後継者不足 >> **今ある仕事なくなる!**

可能性を秘める千葉地方圏

千葉地方圏の魅力を知り、これからを考える。

千葉地方圏の魅力

千葉県には、大型商業施設や大企業が立地する「都市圏」と、里山や漁村などの自然豊かな環境が残る「地方圏」があります。

千葉県の農業産出額は全国4位で、様々な産物をバランスよく生産しています。「地方圏」では、水田、露地野菜、施設園芸、植木、畜産などのほか、温暖な気候や地形を活かした多彩な品目を生産し、観光農業も盛んです。

また、成田空港、千葉港、東京湾アクアライン、圏央道などによって都市や世界と繋がっています。スポーツやレジャー産業も盛んで、2020年東京五輪ではサーフィン会場としても選ばれています。さらに、これまでの観光・リゾート地としての豊富な資源を活かしつつ、グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムなど、体験型の観光が進められています。



地方がやるべきことは? To Do

01 農林水産業の強化

消費者のニーズに合った農林水産物を安定的・継続的に提供できるよう、生産力強化と生産性向上を図る必要があります。また、輸出を含めた新たな販路開拓や高付加価値化を目指した6次産業化が求められています。意欲のある人材や担い手の確保・育成も重要です。

02 観光資源の活性化

千葉県は三方を海に囲まれ、内陸部には自然豊かな農村や山林が広がっています。これらを活かした観光による交流人口の増加を図る必要があります。観光地までのアクセスや、観光客が快適に過ごせる環境の整備も必要です。地域資源を活用した着地型観光の需要も増える可能性があります。

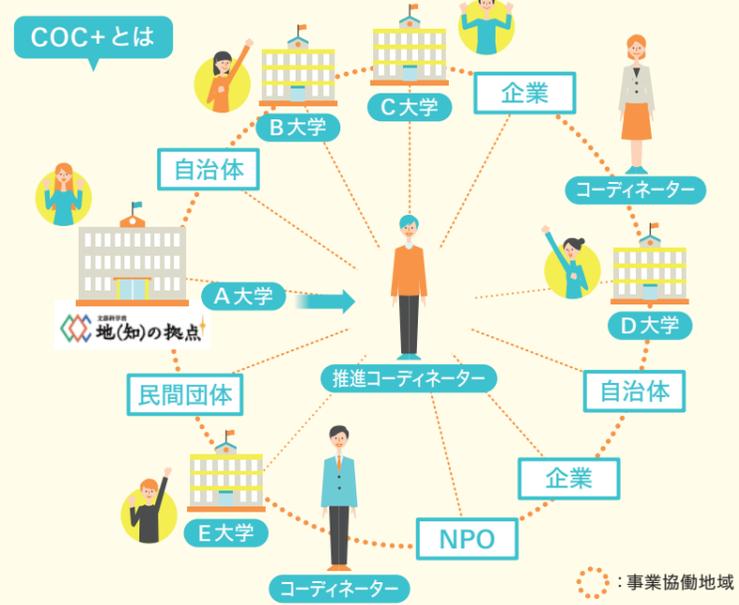
03 新産業の創出

都市と地方の両面を持つ千葉県には、高い技術力を持つ企業、大学、研究所、インキュベーション施設などが立地しています。産学官連携の推進やベンチャー企業支援によって地方の産業にイノベーションを興し、市場を開拓する必要があります。

04 若者の定着促進

若者に卒業後も地域に留まってもらえるように、地域をより深く知り、地域とのつながりを築くための取り組みが必要です。例えば、地元企業の魅力発信や、地元企業と学生の出会いの場をつくることで、地域を支える若者の地元定着を推進します。

COC+による地域連携で、ローカル・イノベーションに挑む



地方における魅力ある就職先の創出・開拓と、その地域が求める人材育成のための教育カリキュラム改革

「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥る可能性が危惧される日本。地方と東京の経済格差拡大が、東京の一極集中と若者の地方からの流出を招いています。そこで、大学が地域の各種機関と協働し、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、地域が求める人材を育成するための教育改革を実行します。また、COC+推進コーディネーターを配置し、事業協働地域の連携強化や取り組みの進捗を管理。事業協働機関が設定した目標達成のために、大学力(教育・研究・社会貢献)を結集させ、事業協働地域における雇用創出と事業協働地域への就職率向上によって、若年層人口の東京一極集中を解消させる狙いがあります。

地域のことをもっと知りたい! 自分に何が出来るか考えてみたい!

WEBサイトで詳細をCHECK!
<http://cocp.chiba-u.jp/>

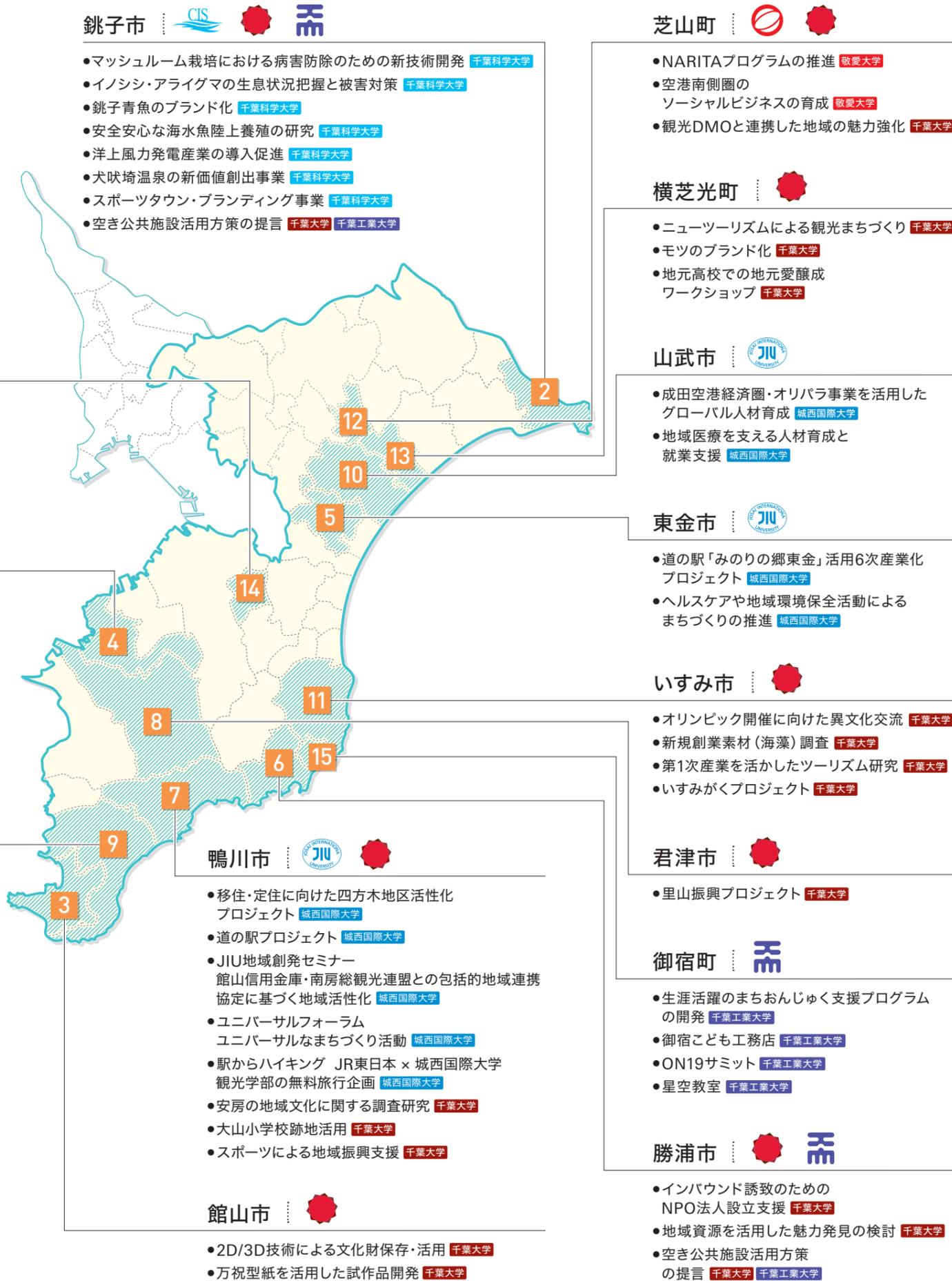


千葉県COC+ Project Map

プロジェクトマップ

自治体、企業、大学、学生が一丸となって
千葉地方圏の課題解決に取り組んでいます。

千葉県内の大学が連携し、千葉地方圏の課題解決に挑戦しています。各大学の強みを活かしながら、千葉地方圏を元気にするための様々な取り組みが進行しており、協働する自治体や企業も少しずつ増加。定期的な事業推進会議では、大学や地域の垣根を越えた情報共有・意見交換を行っています。



- 銚子市** : CIS, 千葉科学大学
- マッシュルーム栽培における病害防除のための新技術開発 千葉科学大学
 - イノシシ・アライグマの生息状況把握と被害対策 千葉科学大学
 - 銚子青魚のブランド化 千葉科学大学
 - 安全安心な海水魚陸上養殖の研究 千葉科学大学
 - 洋上風力発電産業の導入促進 千葉科学大学
 - 犬吠埼温泉の新価値創出事業 千葉科学大学
 - スポーツタウン・ブランディング事業 千葉科学大学
 - 空き公共施設活用方策の提言 千葉大学 千葉工業大学

- 芝山町** : 敬愛大学
- NARITAプログラムの推進 敬愛大学
 - 空港南側圏のソーシャルビジネスの育成 敬愛大学
 - 観光DMOと連携した地域の魅力強化 千葉大学

- 横芝光町** : 千葉大学
- ニューツーリズムによる観光まちづくり 千葉大学
 - モツのブランド化 千葉大学
 - 地元高校での地元愛醸成ワークショップ 千葉大学

- 山武市** : 城西国際大学
- 成田空港経済圏・オリパラ事業を活用したグローバル人材育成 城西国際大学
 - 地域医療を支える人材育成と就業支援 城西国際大学

- 東金市** : 城西国際大学
- 道の駅「みりの郷東金」活用6次産業化プロジェクト 城西国際大学
 - ヘルスケアや地域環境保全活動によるまちづくりの推進 城西国際大学

- いすみ市** : 千葉大学
- オリンピック開催に向けた異文化交流 千葉大学
 - 新規創業素材(海藻)調査 千葉大学
 - 第1次産業を活かしたツーリズム研究 千葉大学
 - いすみがくプロジェクト 千葉大学

- 君津市** : 千葉大学
- 里山振興プロジェクト 千葉大学

- 御宿町** : 千葉工業大学
- 生涯活躍のまちおんじゅく支援プログラムの開発 千葉工業大学
 - 御宿こども工務店 千葉工業大学
 - ON19サミット 千葉工業大学
 - 星空教室 千葉工業大学

- 勝浦市** : 千葉大学 千葉工業大学
- インバウンド誘致のためのNPO法人設立支援 千葉大学
 - 地域資源を活用した魅力発見の検討 千葉大学
 - 空き公共施設活用方策の提言 千葉大学 千葉工業大学

- 鴨川市** : 城西国際大学 千葉大学
- 移住・定住に向けた四方木地区活性化プロジェクト 城西国際大学
 - 道の駅プロジェクト 城西国際大学
 - JIU地域創発セミナー 館山信用金庫・南房総観光連盟との包括的地域連携協定に基づく地域活性化 城西国際大学
 - ユニバーサルフォーラム ユニバーサルなまちづくり活動 城西国際大学
 - 駅からハイキング JR東日本 x 城西国際大学 観光学部の無料旅行企画 城西国際大学
 - 安房の地域文化に関する調査研究 千葉大学
 - 大山小学校跡地活用 千葉大学
 - スポーツによる地域振興支援 千葉大学

- 館山市** : 千葉大学
- 2D/3D技術による文化財保存・活用 千葉大学
 - 万祝型紙を活用した試作品開発 千葉大学

- 長柄町** : 千葉大学
- リソル生命の森CCRCグランドデザイン 千葉大学
 - 長柄町版大学連携型生涯活躍のまち 千葉大学
 - 健康寿命延伸プログラムの実践 千葉大学
 - カレッジタウン生涯学習プログラム 千葉大学
 - 地産地消エネルギーの活用検討 千葉大学

- 木更津市** : 木更津工業高等専門学校
- オープンデータ活用によるICT戦略の促進 木更津工業高等専門学校
 - 市民体験プログラム 木更津駅前ブック・カフェの展開 木更津工業高等専門学校
 - 問題解決技法による企業等の問題解決 木更津工業高等専門学校
 - 植物工場の高度化と6次産業に関する研究実証 木更津工業高等専門学校
 - オーガニックシティプロジェクト 木更津工業高等専門学校
 - デザインサーベイ 千葉大学
 - オーガニックツーリズム開発 千葉大学

- 南房総市** : 聖徳大学短期大学部 千葉工業大学
- 南房総市の食材を使った新たな名品づくり 聖徳大学短期大学部
 - 子育てサポーター育成プロジェクト 聖徳大学短期大学部
 - 南房総市の昔話絵本作製プロジェクト 聖徳大学短期大学部
 - 房総うちわ魅力再発見プロジェクト 聖徳大学短期大学部
 - 南房総市ファッションショー開催プロジェクト 聖徳大学短期大学部
 - 道の駅改修マスタープラン作成支援プロジェクト 聖徳大学短期大学部
 - 空き家公共施設活用プロジェクト 千葉工業大学
 - 水耕栽培による農地利活用プロジェクト 千葉工業大学
 - 地域資源「キンセンカ」を活用した地域おこし 千葉工業大学
 - 地域課題解決アプリ・システム開発プロジェクト 千葉工業大学
 - 持続可能な集落創造プロジェクト 千葉工業大学
 - 海洋資源利活用プロジェクト 千葉工業大学
 - 地域創生活動の連携促進プロジェクト 千葉工業大学
 - 若者と市民との交流創出プロジェクト 千葉工業大学
 - 地域資源「神社仏閣、万祝」を活用したインバウンド観光 千葉大学
 - サイクルツーリズム開発 千葉大学
 - 空き公共施設活用方策の提言 千葉大学 千葉工業大学

プロジェクト参加学生の声 Voice



インタビューから移住の実態を知る

千葉大学 文学部人文学科 塩谷 桃加

私は、長柄町生涯活躍のまち事業の一環として、移住定住促進パンフレットの作成に携わりました。このプロジェクトは町内の移住者を訪ね、長柄町への移住体験談や移住にまつわる案内を一冊の冊子にまとめるというものです。インタビューを文章にまとめる作業は大変でしたが、その作業を通して長柄町で営まれる暮らしの多様さへの理解が深まりました。UIターンが目される中で「移住」についてこれほど考える機会を得られたのは本当に貴重な経験でした。



自分の専門が地域活性化の力に

千葉大学 工学部都市環境システム学科卒業 千邑 峻明

いすみ市を拠点に自分のプロジェクトを進めました。大学の授業では実際に地方で活躍している方のお話を聞く機会も多く、自分が地方に対してどのように関わられるか考えるようになりました。今後は自分のスキルを活かし、AIを活用した地域の活性化に取り組もうと思っています。



第5回外房いすみ酒蔵開きで活動した際の写真

✉ 後輩たちへのメッセージ

地方で活躍するには、自ら学び実践する姿勢が重要だと感じています。自分なりのやり方を考え、実践してみてください！

自治体による若者定着に向けた取り組み

1 千葉県

千葉県採用力向上サポートプロジェクト

商工団体・教育機関(高校・大学・専門学校等)などと連携して、県内中小企業の新卒採用を支援しています。企業の採用担当者と教育機関の就職担当者が交流する合同面談会を開催するほか、学生向けには、企業の魅力発表会や、企業実習(ジョブシャドウイング)、Facebook(チバQ)による企業情報の発信などを行っています。

4 木更津市

大学や工業高等専門学校などとの連携による地域づくり

木更津工業高等専門学校と連携し、情報人材の育成や産業振興などを目的としたオープンデータの活用を行っています。また、木更津駅周辺や市街地の空きスペースを利用した憩いの空間を確保し、市民交流活動への支援を行うことで教育機関と連携した地域づくりを行い、若者の地元定着に取り組んでいます。

7 鴨川市

地域を支える人材の育成・確保、地元定着の促進

里山の廃校を活用したオフィス整備や地域農産物の高付加価値化、鴨川プラチナタウン(鴨川版CCRC)構想の推進などにより、地域の特色を活かした産業の振興、移住・定住を促進するとともに、地域の課題解決に向け、観光や医療・福祉をはじめとする多様な分野の人材の育成・確保に取り組んでいます。

10 山武市

グローバル教育の推進による若者定着

山武市では、地方創生戦略を「山武市(育てる力)集中創生戦略」と銘打って、幼児期から高校生まで、集中的な英語教育やオリパラ交流などの実施によりグローバル教育を推進し、成田空港を中心に地域就業を増加させる取り組みを進めています。また、エコノミックガーデニングと呼ばれる地域企業の育成、創業支援も行っています。

13 横芝光町

ローカルハブを拠点に起業促進

COC+の地域拠点であるローカルハブでは、町内の様々な産業に関わる若い人材が集う「タウンマネジメント講座」を開催し、観光振興から新たな雇用を促進するプロジェクトを進めています。また千葉大生による「よこびかプロジェクト」など、ローカルハブを拠点に若者の新たなネットワークが形成されています。

2 銚子市

企業・起業家支援事業

地域の情報のほか、銚子市の魅力的な仕事を紹介する企業・人材マッチングサイト「Seeゴトバ」を開設しています。企業立地の支援制度と併せて企業の人材確保、若者の就労や、空き店舗活用事業補助金で起業家を支援します。東京から約100km、地域資源が豊かな銚子市で働きませんか。詳しくは銚子市ホームページをご確認ください。

5 東金市

住宅取得補助制度

若者の定住促進と地域経済の活性化を図るため、平成28年度より新築住宅取得補助制度を運用しています。東金市に定住する意思を持って新築住宅を取得した配偶者を有する45歳以下の若者に対し、最大50万円の補助金を交付します。

8 君津市

地方創生広域連携事業

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、市原市・大多喜町と連携しながら、房総丘陵に広がる里山とその周辺地域の様々な資源を活用した取り組みを一体的に進めています。世界に一番近い「SATOYAMA」として観光地のブランド化を図るとともに、その受け皿となる広域観光産業づくりを展開しています。

11 いすみ市

創業トライアル

いすみ市大原駅前商店街の一角に、学生が地域の課題解決を実践でき、多様な世代の交流や賑わいを創出できる拠点を整備します。この拠点において、学生自らのスキルを活かし、新たなビジネスを創出するとともに実践することにより自信や新たなスキルを身に付けることで、地域に住み、働くことのできる若者を増やします。

14 長柄町

長柄町版大学連携型生涯活躍のまち

町内の総合健康スポーツ施設「リソル生命の森」を核とした長柄町版大学連携型生涯活躍のまち事業を通じ、都心部の元気な高齢者の移住定住を促進するとともに、町民や移住者向けの健康寿命延伸プログラムや社会参加プログラムの開発による新たな仕事づくりと若者に魅力ある雇用の創出に取り組んでいます。

各自治体も積極的に若者定着のための取り組みを行っています。 ※平成29年10月時点

3 館山市

デジタル造形技術に基づく歴史的造形資源の保存・活用・共有による地域活性化

千葉大学との連携により、市立博物館所蔵の「万祝型紙」から集積した図柄データを活用した試作品の展示・紹介や文化財(仏像・彫刻等)の3Dデータ化による取り組みを通じ、地域固有の歴史的造形資源をアーカイブとして記録・保存するとともに、当該資源を活用した商品化や地域文化の担い手創出を目指しています。

6 勝浦市

企業立地推進事業

地方創生の基本目標である働く場の確保として、本市の豊かな自然環境や地域資源、都心からの好アクセスを活かし、サテライトオフィスを誘致しています。また、大学生による空き公共施設等活用方策の提言を実施し、遊休資産の有効活用による地域経済の活性化を図り、若い世代の雇用創出・定住に取り組んでいます。

9 南房総市

産学協働地域活力創造事業

南房総市総合戦略の基本目標「新しい人の流れをつくる」ことを目指して、大学生などと市民との交流の機会の創出、大学・学生シーズを活かした若者チャレンジ支援、地域ニーズに対する大学・学生シーズを活かした地域課題解決の3つのプロジェクトを通して地域活力を創造し、雇用創出及び若者定着促進に取り組んでいます。

12 芝山町

成田空港の更なる機能強化に対応した新たなまちづくり

現在芝山町内に成田空港の3本目の滑走路(C滑走路)の配置が検討されています。今回提示されたC滑走路候補地は、その大半が町内に位置しており、新たなまちづくりが求められることとなります。多くの方の知見を活かしながら、若者からも支持されるまちづくりに取り組みます。

15 御宿町

生涯活躍のまち・おんじゅく(御宿版CCRC)構想による雇用創出

「生涯活躍のまち・おんじゅく(御宿版CCRC)構想」の推進に着手しており、医療・介護の施設などを誘致することで若者の働く場の創出に取り組みながら、交流サロンの設置といった地域交流の促進や様々なアイデアによる魅力ある町づくりを今後行うことにより、若者が移住する取り組みを実施していきます。

大学による教育・研究

千葉大学



九十九里浜でニューツーリズムの調査をする学生

横芝光町、いすみ市、勝浦市、長柄町にローカルハブを設置し、総合大学の強みを活かしながら、自治体や産業ごとに6次産業化、インバウンド観光、メディカル連携の各事業を展開しています。また、副専攻「地域産業イノベーション学」(P.7~10参照)を開始し、地方圏でのイノベーションによる産業振興や雇用創出を担う人材の育成に取り組んでいます。

【カウンターパート: 1 2 3 4 6 7 8 9 11 12 13 14】

千葉工業大学



御宿町の子供たち80名と千葉工大学生40名のコラボによるベンチ作り

御宿町では町が取り組むCCRCに対しての研究実装、研修センターを中心としてPBL授業の実施、公開講座の実施、南房総市では空き校舎をサテライトキャンパスとして昨年度からボランティア学生の派遣、参加学生への単位付与、数チームの調査研究、水耕栽培などの事業化を自治体との協力で実施しています。他に銚子市、勝浦市との地域連携により地方創生の取り組みを行っています。

【カウンターパート: 1 2 6 9 15】

放送大学



面接授業でディスカッションする学生

千葉県の人口減少問題に対して、その減少度合いを小さくするためには、自治体に取り組むだけではなく市民町民が共に行動を起こす必要があります。そこで面接授業「人口減少時代の千葉の地方創生」を開講し、ワークショップ形式も取り入れながら、地方の危機に対して何ができるかを学生同士で議論する場をつくっています。

参加大学・協力大学による取り組みをご紹介します。 ※平成29年10月時点

敬愛大学



成田空港での案内ボランティア

現在、複数の空港関連企業に協力を要請。周辺自治体との連携を進め、産官学が一体となり、「エアポートNARITA 地域産業学(副専攻)」を学生に推奨し、魅力ある就職先の創出と、地域が求める人材の養成を進めていきます。平成31年に向け、対象エリアでのインターンシップ参加者を1.6倍、就職率10%向上を目標に、空港発地域産業ビジネスの振興を進めていきます。

【カウンターパート: 12】

聖徳大学短期大学部



学生が開発し、南房総市の商業施設で販売されたパン(一部)

南房総市の食材を用いたレシピ及び商品加工品の開発、ファッションショーの開催、昔物語の絵本製作と教育機関への配布、市内の道の駅のバリアフリー化の研究、「房州うちわ」の新たな展開研究、子育てサポーター講座の開催などの取り組みを行っています。実施に際しては、南房総市、産業界、教育機関との連携を図っていく計画です。

【カウンターパート: 9】

城西国際大学



外国人観光客向け千葉県周遊ガイドの作成

城西国際大学は、地域教育医療福祉センターが地域の窓口となり、6次産業化、グローバル人材・ヘルスケア人材の育成、地域のグローバル化や就業支援により、東金市・山武市との協働でまちづくりを実践しています。鴨川市の安房キャンパスでは、インバウンド観光支援や観光まちづくり活動を通じて、地域の活性化に取り組んでいます。

【カウンターパート: 5 7 10】

千葉科学大学



機能性食品の開発に取り組む学生

銚子の様々な地域資源を活用し、そこから地方創生につながるような商品開発や研究を行い、実践的な教育や人材育成にもつなげています。例えば、命を救う食、危機管理フードの開発では、危機管理を学んだ本学学生が携わり、実践的な人材育成と商品開発を行っています。

【カウンターパート: 2】

木更津工業高等専門学校



KJ法を用いた問題解決のグループ討議

専攻科共通科目「問題解決技法」をアクティブラーニング、創造教育の一環として実施しています。具体的には、学科横断チームに、地域企業など((株)新日本製鉄住金、(株)大仙、大学)で困っている実際の課題を与え、課題提案者とのディスカッション、解決策の提案、実装、プレゼンテーションを実施しています。

【カウンターパート: 4】

日本大学生産工学部



木造平屋の学舎の前立つプロジェクトメンバー

佐倉市との包括協定に基づき、全学科必修科目である「生産実習」(インターンシップ)に関する連携が始まりました。また創生デザイン学科では旧佐倉市立志津小学校青菅分校保存・創生プロジェクト:AOSUGE PROJECTをスタートし、数年かけて同分校を修復・整備後、地域の核とする構想を進めています。

Feature

地域の“未来”づくりのため、
課題発見・解決力、実践力、コミュニケーション力を鍛える

千葉大学の2つの 全学共通教育プログラム

地域産業イノベーション学

コミュニティ再生ケア学

「地域産業イノベーション学」「コミュニティ再生ケア学」は、学生の皆さんの専攻である各学部での専門性を持ちながら、地域産業・イノベーションや地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を身に付ける全学共通教育プログラムです。ゆくゆくは、学生の皆さんが、NPOや大学、自治体、企業などの立場から地域産業をイノベーションしたり、地域再生のために活躍できる人材となることを目指しています。

各プログラムの特徴

地域産業イノベーション学

地域とは何か、地域産業の課題や展望はどのようなものか、それらに新しい価値を付けて産業振興するにはどのようなアプローチが考えられるかなど、「自らがイノベーションを興す力」を身に付ける副専攻(マイナー)プログラムです。

コミュニティ再生ケア学

地域とは何か、地域の中の様々な課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、「自らが地域の課題を具体的に解決する力」を身に付けるために必要な基本的な考え方を学ぶサーティフィケートプログラムです。

わたしたちが目指すのは、地域の未来づくり

産業振興の
プロフェッショナル

地域志向の
プロフェッショナル

地方創生の
スペシャリスト

地域づくりの
スペシャリスト

職業イメージ

- 公務員
- シンクタンク
- 研究者
- 地域企業
- コンサルタント
- まちづくり会社 / NPO など

● 修了証書 / 履修証明書

地域産業イノベーション学

コミュニティ再生ケア学

を学んだ証明

「地域産業イノベーション学」と「コミュニティ再生ケア学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する全学共通教育プログラムです。普遍教育科目では、教養コア科目、教養展開科目の中に、それぞれのプログラムを構成する科目が指定されています。取得要件で定められている単位を修得した学生に対して、地域産業イノベーション学は「修了証書」を、コミュニティ再生ケア学は「履修証明書」を発行します。

副専攻(マイナー)プログラム
地域産業イノベーション学

30単位*

サーティフィケートプログラム
コミュニティ再生ケア学

23単位*

普遍教育と専門教育を横断する全学共通教育プログラムにより、
課題発見力、課題解決力、実践力、コミュニケーション力を築きます。

普遍教育科目

地域と暮らし(地域コア)
(必修)

講義・体験型科目
教養展開

PBL・実習型科目
教養展開(地域コア関連)

地域づくり、地域産業、イノベーションの基礎・理論、地域と地域再生の基礎・理論、スキル、体験を学ぶ

+

専門教育科目

所属学部・他学部の指定する専門教育科目
すべての学生が履修できる全学共通科目があります

※単位数・証明書の違い：地域産業イノベーション学は副専攻(マイナー)プログラムで30単位を必要とし、コミュニティ再生ケア学はサーティフィケートプログラムで23単位を必要とします。この違いにより証明書も異なります。

プログラム修了者の声

2017年度卒業 法政経学部 田畑 凜子

▶なぜ、コミュニティ再生ケア学を履修したのですか？
地域を元気にしたいと思ったからです。また、PBL型の授業で実践的な学習ができると思いました。

▶どのように履修計画を立てましたか？
履修見込を取得するために、3年生が終わるまでに単位を取ろうと考えました。

▶特に印象に残った科目は何ですか？
いままで千葉地方圏に関心はなかったのですが、「千葉の地域を知る」の授業を受けて、千葉県の様々な魅力を知ることができました。

▶履修生に向けたメッセージ
ワークショップ型の授業が多く、他の人の意見を聞くことによる学びが多くあります。実践型の授業にも積極的に出ることで、地域のために活かせるスキルを付けることができると思います。

2017年度卒業 工学部 根本 卓也

▶なぜ、コミュニティ再生ケア学を履修したのですか？
地域を元気にしたいと思ったからです。就職にも役立つと考えました。

▶どのように履修計画を立てましたか？
工学部の年間単位取得上限50に抵触しないように、適宜学科の専門科目を聴講に切り替えることもしました。

▶特に印象に残った科目は何ですか？
「カレッジリンク」では様々な専門性を持つ社会人の方と接点を持つ機会を得ました。現在の自分の人間関係に活かしています。

▶履修生に向けたメッセージ
面白い活動をしている学生がたくさんいるので、ぜひ学生間で積極的に情報交換をしてください。

● 修了証書／履修証明書の取得要件

各プログラムの修了証書／履修証明書の取得要件は、各学部の卒業要件として修得しなければならない単位数とは異なります。以下の取得要件表に定められた科目区分に属する科目を、取得要件に応じて必要単位を取得することが必要です。

地域産業イノベーション学

科目種別		必要単位数	備考		
普通教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	1	地域に関する必修科目です。普通教育教養コア(地域コア:地域と暮らし)科目に該当します。
		講義・体験型	地域づくりを学ぶ	4~10	地域づくりに関する基礎的な科目です。普通教育教養展開地域コア関連科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。
	千葉を知る		2~4	千葉に関する基礎的な科目です。普通教育教養展開科目および敬愛大学開講科目に該当する科目があります。	
	産業イノベーションを考える		4~10	産業イノベーションに関する基礎的な科目です。普通教育教養展開科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。	
	スキルを学ぶ		2~6	地域づくりや産業イノベーションに資するスキル取得のための科目です。普通教育教養展開科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。	
	選択	PBL・実習型	PBL(プロジェクト・ベース・ラーニング)	4~8	地域産業イノベーションに関するプロジェクトベース・実習型の科目です。普通教育教養展開地域コア関連科目に該当する科目があります。
			カレッジリンク・プログラム		
			地域活動体験		
			インターンシップ		
	専門教育科目	地域産業イノベーションに関する専門内容	2~10	各学部の専門科目に該当する科目があります。	
修了証書取得要件		計30単位			

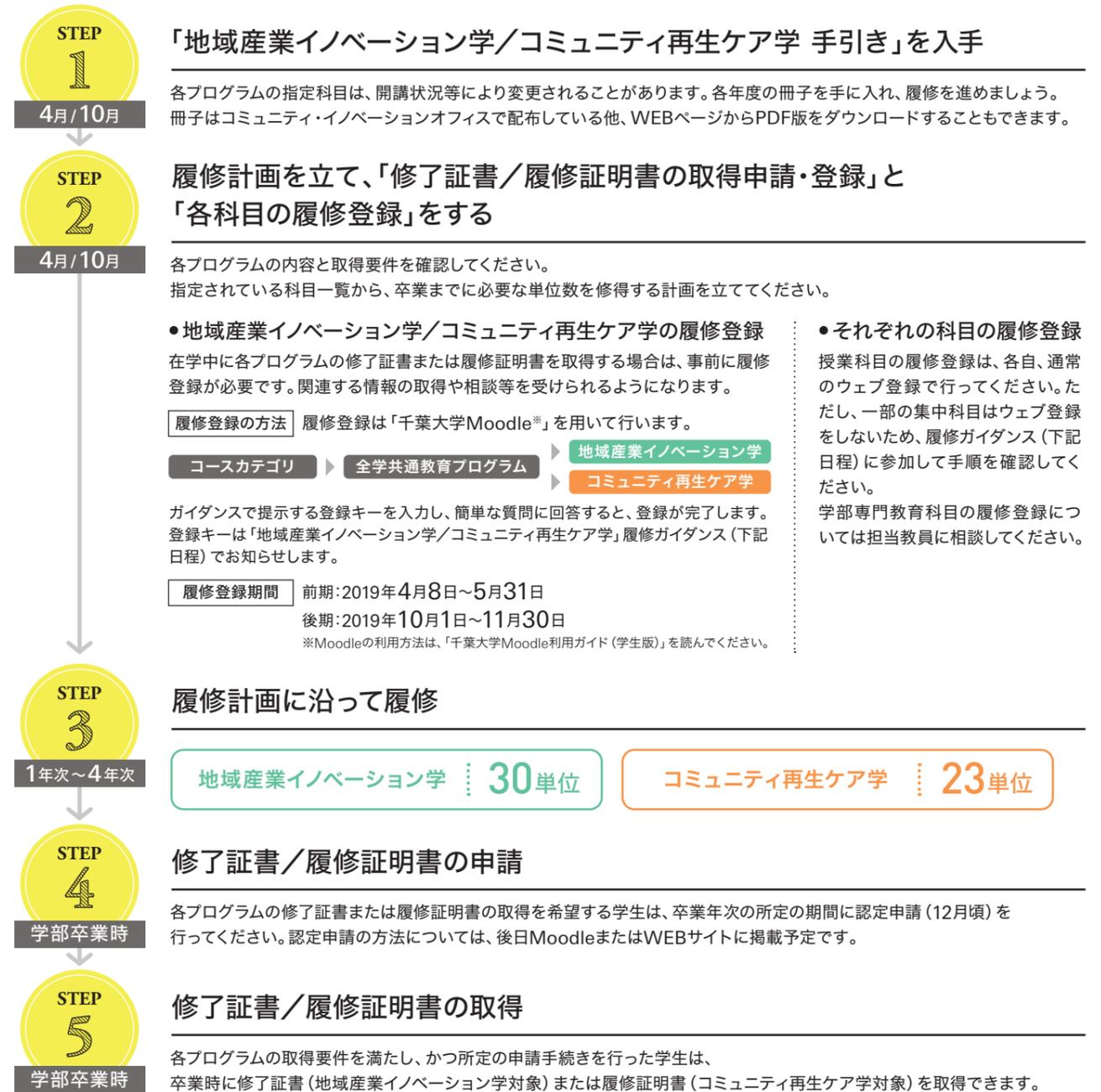
(注意) 入学年度が2015年以前の学生は、必修「地域と暮らし(地域コア)」の1単位を除く計30単位の取得が必要です。

コミュニティ再生ケア学

科目種別		必要単位数	備考		
普通教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	1	地域・コミュニティに関する必修科目です。普通教育教養コア(地域コア:地域と暮らし)科目に該当します。
		講義・体験型	地域(再生)の基礎を学ぶ	4~10	地域・コミュニティに関する基礎的な科目です。普通教育教養展開地域コア関連科目に該当する科目があります。
	地域(再生)に関する多様な分野を学ぶ		2~4	地域・コミュニティに関する基礎的な科目です。普通教育教養展開科目と放送大学開講科目に該当する科目があります。	
	地域(再生)に資するスキルを学ぶ		2~4	地域・コミュニティに関わるためのスキル取得のための科目です。普通教育教養展開科目に該当する科目があります。	
	選択		PBL・実習型	PBL(プロジェクト・ベース・ラーニング)	2~6
		カレッジリンク・プログラム			
		地域活動体験			
		インターンシップ			
	専門教育科目	地域(再生)に関する専門内容	6	各学部の専門科目に該当する科目があります。	
	履修証明取得要件		計23単位		

(注意) 入学年度が2014年以前の学生は、必修「地域と暮らし(地域コア)」の1単位を除く計23単位の取得が必要です。

● 履修方法(履修開始から修了証書／履修証明書取得までの流れ)



もっと知りたい・分きたい人は **ガイダンス** へ!

「地域産業イノベーション学」「コミュニティ再生ケア学」
履修ガイダンス
2019年4月8日 12:10~12:40 @アカデミック・リンク・センター
4月9~12日 12:10~12:40 @総合校舎G4-54

「地域産業イノベーション学」「コミュニティ再生ケア学」
履修相談会 ※個別相談に乗ります
2019年4月8~12日 13:00~17:00 @コミュニティ・イノベーションオフィス

「地域活動体験」「地域志向型インターンシップ」
合同履修ガイダンス
2019年4月16~18日 12:10~12:40 @総合校舎G4-54

「カレッジリンク」「ローカル・プロジェクト実習」
合同履修ガイダンス
2019年4月23~25日 12:10~12:40 @総合校舎G4-54

プログラムの詳細はWEBサイトで確認してください。

☞ <http://cocp.chiba-u.jp/education/index.html>



都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業について

事業コンセプト

地域産業イノベーション人材の育成

首都圏に近く、成田空港を有する立地を活かし、都市の研究シーズを千葉に集約させ、地方に還流し、地域産業にローカル・イノベーションを興す「地域産業イノベーション人材」を育成します。

地方創生先進モデルの提案

海と山に囲まれ、都市と農村が共存する千葉県は「日本の縮図」とも言え、本事業が人口減少課題に直面する日本の地域創生先進モデルとなることを目指します。

事業目標

若者の就職率の向上

事業協働地域における就職率を3% (H26年度) から13% (H31年度目標) に向上させます。そのうち1割を雇用創出等によるものとします。

事業協働地域



千葉県における人口動態の特徴と課題

千葉県は、東京に近接し若者人口が流入超過する「都市圏」と、若者人口が流出する「地方圏」に二分されています。千葉地方圏では、若年層の人口減少、地域産業の後継者不足、地域経済の縮小と衰退、少子高齢化といった課題があります。

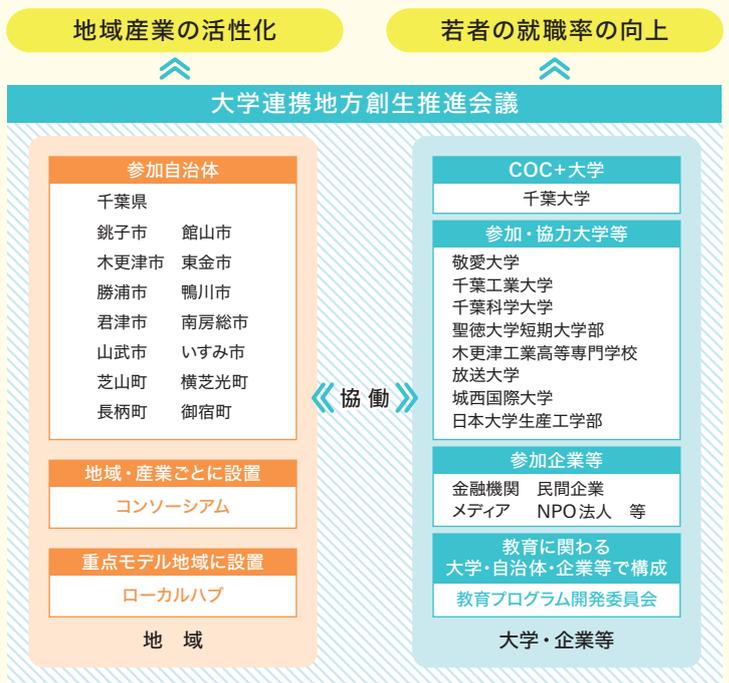
事業協働地域

千葉県COC+では、千葉地方圏を事業協働地域としています。地域や産業ごとにコンソーシアムを設置し、課題解決に取り組んでいます。

千葉県COC+ 事業概念図



千葉地方圏の協働体制図



千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 学際研究棟1F
TEL: 043-290-2912 FAX: 043-290-2148
E-mail: coc-p@chiba-u.jp

詳しくはWEBサイトをご覧ください。
<http://cocp.chiba-u.jp/>

